【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>能代市家庭教育支援チーム</u> (呼称: あそびのひろば・ぱれっと)
②活動拠点	能代山本広域交流センター
③活動範囲	能代市山本郡内全域
④組織体制	9人 子育てサポーター5人 (うち家庭教育支援チームリーダー・サポーター養成講座修了者3人) 元幼稚園教諭 1人、民生児童委員 2人、元児童劇団員 1人
⑤活動開始年度	_ 平成 22 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) あそびのひろば・ぱれっと 田中直美 (TEL) 0185-54-5877(能代おやこ劇場内) (E-mail) <u>asobi.paretto@gmail.com</u>

(2)活動内容について

	☑保護者等への学びの場の提供
	☑保護者等への地域の居場所づくり
①活動形態	□アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)
(複数チェック可能)	■ (□自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)
(複数デエツク可能)	□保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	□その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	口その他()
_	☑乳幼児 ☑小学生(低学年) □小学生(中学年) □小学生(高学年)
②活動対象 	口中学生 口高校生以上
(複数チェック可能)	の子供を持つ保護者に対する活動を実施

【具体的な活動内容】

- 1. 未就園児の親を対象としたあそびのひろばを開催(月1回)
- ・地域とのつながりが薄れていく中で、悩みや不安を抱えながら一人で子育 てしているお母さんたちに、息抜きの場を提供する。
- ・ひとりひとりの子どもに寄り添い、お母さんたちの悩みや不安に答えることで、親の教育力を高めるための支援をする。

日時: 毎月第4水曜日 午前10時~12時30分

内容:①季節の絵本の紹介、読み聞かせ

- ②お母さんたちを対象とした仲間づくりワーク、アクティビティ
- ③親子で楽しめる工作や遊び、散歩など、季節に応じた活動
- ④昼食をとりながらの交流、おしゃべり
- ⑤自由あそび

③活動内容







- 2. ぱれっと通信の発行(月1回)
- ・活動内容を知ってもらうために、活動の写真や感想、次回予告や育児のひとことアドバイスなどを載せたお便りを作成し、子育て支援センターや公共施設などに配布する。

④活動の成果(活動実績がある)

場合)

- ・ゆっくりしたりおしゃべりしたりしてリフレッシュできた、大人の目がたくさん あるので子どもを安心して遊ばせることができた、豚汁やシチューがおいしく て子どもが野菜をたくさん食べてくれるのでありがたい、などの感想をいた だいている。
- ・毎月、季節の絵本を並べているが、参加する子どもの年齢や月齢に合わせて絵本を選んでいる。絵本を買ったり借りたりする時の参考にしているとの声もいただいている。
- ・コロナの感染状況により中止にせざるを得ない時もあったが、最近は感染対策を徹底して、短時間でも開催するようにしている。感染対策でいろいろなイベントが中止されていることもあり、行き場のない親子の憩いの場になっている。

	□文部科学省補助事業(事業名:)
	□文部科学省委託事業(事業名:)
	□厚生労働省事業(事業名:)
⑤活動財源	□地方公共団体単独事業として実施	
(複数チェック可能)	口特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)	
	☑その他の支援により活動を実施	
	・いきいきサロン補助金(能代市社会福祉協議会)	
	・子ども・子育て応援団体支援事業補助金(能代市子育て支援課)	